

# 「陽性が判明！！」直後から動けるよう、準備をお願いします。

## 施設職員や入所者が陽性になった時に求められる対応(例)

経過	事柄	保健所の対応	施設の対応
午前中	職員、利用者が PCR 検査を実施	陽性となった場合に備える	●陽性になった場合に備える
夕方	陽性が判明	疫学調査を行う	●調査に協力する 職員の勤務状況や接触者の状況、施設全体（職員や利用者）の健康状態、施設の入館者の情報 等
		消毒やゾーニングの指導、確認を行う	●保健所の指導や助言を踏まえた消毒を実施する ●ゾーニングをする
夜間 ～ 翌日	接触者の検査を実施	接触者の PCR 検査を行う	●検査に協力する 職員への連絡、利用者への説明、検査の介助等
		濃厚接触者を特定する	●職員が濃厚接触者となった場合の職員体制を検討する ●通所系利用者が濃厚接触者となった場合 →利用者へ説明、休業の検討等 ●入所系利用者が濃厚接触者となった場合 →ゾーニングを実施 感染予防策を講じた介護を実施する
翌日	接触者の検査結果が判明		●2週間の介護体制の検討し、職員数を試算する ●利用者に濃厚接触者がいる場合は、感染予防策を講じた介護を継続する（2週間） ●必要な感染防護具を計算し不足する場合は購入する（2週間分） ●介護に従事する職員の肉体的、精神的な支援体制を考える

### 重要ポイント1

- 夕方から夜にかけて対応することが多いです。
- その時施設にいる職員で直ぐに、消毒やゾーニングができるよう、準備しておきましょう。

### 重要ポイント2

- 直ぐに「感染予防策を講じた介護」に切り替える必要があります。（陽性者は入院までの間、濃厚接触者は2週間）
- 施設の対応マニュアルがない場合は、国が示した「手引き」をダウンロードする等準備して下さい。

### 重要ポイント3

- 職員全員で共有することが重要です。
- 特に介護職やリハ職等、直接利用者に接する人達と具体的な介護の方法について共有できているか再度確認下さい。
- マニュアルや手引きはすぐに取り出せる場所に置いておきましょう。